

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念を毎日唱和し、また月間目標を掲げることでケアに結びつくよう取り組んでいるが、その解釈が職員によってバラバラであったり、具体的な実践にまで至っていないと思われることがしばしば見受けられる。	<ul style="list-style-type: none"> すべての職員が法人理念を正しく理解し、それを踏まえたケアが実践できる。 事業所独自の目標を共有・理解し、一人ひとりが地域貢献の視点を持って行動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人理念、クレドを毎日唱和する。 共用型デイサービスを地域に広報し、その利用を促す 地域行事に参加する 	12ヶ月
2	4	運営推進会議への家族様の参加を促しているが、それぞれの事情により現状難しい。	家族様の要望等をより多く会議に反映し、またお応えできるような取り組みを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議に参加していただけるよう依頼を継続する。 施設内行事への家族様の参加を促す。 要望やご意見を伺うため、家族様にアンケートを送付する(年6回)。 	12ヶ月
3	33	入居時に終末期の意向について書面にて確認を取っているが、その後は終末期となるまで意向を伺うことができていない。実際、家族様も入居者が終末期となるまでその実感もなく、率直な意見を伺うことができないのが実情である。	看取りの時期には家族様に納得していただけるよう、他職種と連携して支援する。また、看取りに関する研修の機会を設け、ケアの質の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 看取り期における他職種との連携 看取りに関する研修を実施する 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。